

耐塩害仕様

(1) 耐塩害仕様室外機は、日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002-1991(空調機器の耐塩害試験基準)に基づいています。

(2) 「JRA耐塩害仕様」・「JRA耐重塩害仕様」の選定の目安

標準仕様は亜鉛被膜による防食性を有し、塗料との密着性を改善した溶融亜鉛メッキ鋼板(亜鉛鉄板)の使用等により、すぐれた耐食性を発揮します。

しかし、設置場所の多様化に伴い標準仕様のままでの対応の難しいケースも増えています。

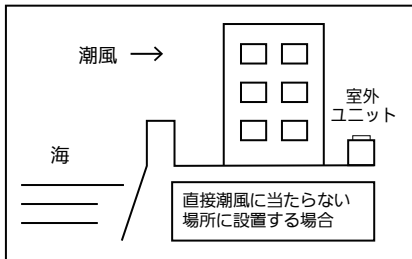
このため次のような設置場所で使用する場合には、さらに耐食性を向上させた「JRA耐塩害仕様」又は「JRA耐重塩害仕様」をご使用ください。

<設置場所>

- ① 海岸線に隣接し、塩害を受けやすい場所
- ② 海岸線の工業地帯で塩害や煙害を受けやすい場所
- ③ 工業地帯ではないがゴミ焼却炉等の煙害を受けやすい場所
- ④ 交通渋滞地域で排気ガスの影響を受けやすい場所
- ⑤ 温泉地帯の硫化ガスの多い場所
- ⑥ 燃烧器の排気を吸込む場所

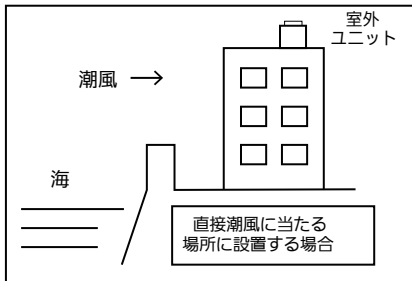
●JRA9002では適用の方法として下記の様に記載されています。

「JRA耐塩害仕様」適用:潮風にはかからないがその雰囲気にあるような場所に設置する。



	海岸からの距離目安			備考
	300m	500m	1000m	
内海に面する地域	耐塩害仕様	耐塩害仕様	耐塩害仕様	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐塩害仕様	

「JRA耐重塩害仕様」適用:潮風の影響を受ける場所に設置する。



	海岸からの距離目安			備考
	300m	500m	1000m	
内海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	瀬戸内海
外海に面する地域	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	
沖縄・離島	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	耐重塩害仕様	

(3) 空調機器の耐塩害試験基準(JRA9002)について

<適用範囲>

JRA9002(空調機器の耐塩害試験基準)は、室外に設置される空調機器の外郭を構成する部品の金属素地上、主として防食及び装飾の目的で塗装する部品の塗膜の試験方法について規定しています。

<試験項目と試験時間>

(単位:時間)

	試験項目	耐食性	耐湿性	促進耐候性
試験時間	JRA耐塩害仕様	480	360	500
	JRA耐重塩害仕様	960	720	500
備考	標準品	240	240	300

*評価基準詳細についてはJRA9002-1991を参照してください。

<据付上のご注意>

本仕様品を使用した場合でも、発錆に対して万全ではありません。

機器の設置やメンテナンスに際しては、下記の点に留意してください。

JRA9002にも記載されておりますが、本仕様品を使用された場合でも下記のような配慮が必要です。

- ①海水飛沫及び塩風に直接さらされることを極力回避するような場所へ設置すること。
(波しぶき等が直接かかる場所への設置は避ける。)
- ②外装パネルに付着した海塩粒子が雨水によって充分洗浄されるように配慮(例えば室外ユニットには日除け等を取り付けない)すること。
- ③室外ユニット底板内への水の滞留は著しく腐食作用を促進させるため、底板内の水抜け性を損なわないように傾き等に注意すること。
- ④海岸地帯の据付品については、付着した塩分等を除去するために定期的に水洗いを行うこと。
- ⑤据え付け、メンテナンス等に付いた傷は補修すること。
- ⑥機器の状態を定期的に点検すること。(必要に応じて再防錆処置や部品交換等を実施する。)
- ⑦基礎部分の排水性を確保すること。

(4) 耐塩害仕様機種は次のラベルを貼付しています。

JRA耐塩害仕様機種ラベル

J R A 耐 塩 害 仕 様

JRA耐重塩害仕様機種ラベル

J R A 耐 重 塩 害 仕 様

(5) 室外ユニット耐塩害仕様表面処理一覧

部品名称		素材	標準仕様	
			塩害仕様	
				重塩害仕様
外装 ・ 枠組	外装パネル	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 40 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	ドレンパン	溶融亜鉛メッキ鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	底フレーム	熱間圧延鋼板	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上
			ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上
	コーナーパネル	アルミニウム	アルマイト処理	
			アルマイト処理	
			アルマイト処理	
センター支柱・中枠	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし		
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上	
固定金具	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし		
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
送風機	ファンガード	ポリエチレンコーティング		
		ポリエチレンコーティング		
		ポリエチレンコーティング		
	プロペラファン	樹脂 (本体、ボス部キャップ アルミ(ボス部))	処理なし	
		処理なし		
		シリコンコーキング(ボス部キャップ周り)		
モーター	外部：樹脂 シャフト：S45C (防錆剤塗布)	処理なし		
		処理なし		
		処理なし		
モーター取付脚	機械構造用炭素鋼鋼管	ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 40 μm 以上	
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 80 μm 以上	
		ポリエステル粉体焼付塗装	膜厚 120 μm 以上	
熱交換器	フィン	プレコート処理		
		プレコート処理		
		プレコート処理		
	管	空気用	銅	
			処理なし	
			ジンクリッチ塗装(ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上
			ジンクリッチ塗装(ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上
ラジエータ	アルミニウム(標準仕様) 銅(塩害/重塩害仕様)	亜鉛被膜処理		
		ジンクリッチ塗装(ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上	
		ジンクリッチ塗装(ろう付部側)	膜厚 20 μm 以上	
管板	高耐食溶融メッキ鋼板	処理なし		
		ジンクリッチ塗装	膜厚 20 μm 以上	
		ジンクリッチ塗装	膜厚 20 μm 以上	

部品名称		素材	標準仕様	
			塩害仕様	
			重塩害仕様	
電装	電装箱	溶融亜鉛メッキ鋼板	処理なし	
	プリント基板		防湿剤塗布	膜厚 80 μm 以上
配管	ろう付け部	銅管・鉄管	処理なし (銅管)、ジンクリッチ塗装 (鉄管)	膜厚 20 μm 以上
	表面部		銅管	標準+ジンクリッチ塗装 (2F側)
ネジ・留具類	内装 (1F側)	鉄・ステンレス	処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理	
	内装 (2F側)		処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理 (SUS410・鉄)	
	外装		処理なし (SUS30*)、金属フレーク系表面処理 (SUS410・鉄)	
			塩害+ウレタン塗装	膜厚 20 μm 以上
			標準+ウレタン塗装	膜厚 20 μm 以上
			標準+ウレタン塗装	膜厚 20 μm 以上